

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系(2016年度)第1回(募集期間:4月28日~5月13日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
1	文学部	非常勤講師	小林 琢自	160	尾高朝雄の国家論における「全体性」理論
2	文学部	助手	春日 秀朗	175	親からの期待に対する青年の適応モデルの検討
3	法学部	教授	大西 祥世	200	憲法14条、24条、44条の総合的な理解による「女性活躍推進」の位置づけ
4	法学部	教授	佐藤 渉	200	東南アジアとオーストラリアの英語文学ネットワーク
5	法学部	教授	竹濱 修	200	横断的国際比較による保険法の相互深化と新たな規律の探求
6	産業社会学部	教授	権 学俊	200	日韓両国における朝鮮人特攻隊員の受容と記憶に関する歴史社会学的比較研究
7	産業社会学部	教授	竹内 謙彰	200	発達の質的転換を捉える新たな発達検査開発のための実証的研究
8	産業社会学部	教授	日暮 雅夫	200	公共圏論の現代的変容—ネオリベリズムと関連して
9	産業社会学部	教授	日高 勝之	200	震災・災害と日本の大衆メディア・文化
10	産業社会学部	教授	福間 良明	200	「戦跡の脱歴史化」をめぐる歴史社会学的研究
11	産業社会学部	准教授	江口 友朗	200	アジアでの社会資本の経済効果に関する多国間測定に向けた調査研究:フィリピンの事例
12	産業社会学部	准教授	角田 将士	200	リテラシー時代に対応した日本史教育のあり方に関する基礎的研究
13	産業社会学部	准教授	加藤 雅俊	200	社会統合の変遷に関する日豪新の比較分析—主体概念の変容に注目して—
14	国際関係学部	教授	池田 淑子	200	ゴジラ映画の受容の日米比較—核戦争と科学技術の狭間で揺れる日米国民のメンタリティ
15	文学部	教授	生田 真人	200	世界経済の再編と世界都市論の再構築
16	文学部	教授	遠藤 英樹	200	「社会のダークネス」と「社会的感情」のメディアとしてのダークツーリズム
17	文学部	教授	河島 一仁	200	ヨーロッパにおける野外博物館への人文地理学者の貢献に関する歴史地理学的研究
18	文学部	教授	小林 功	200	7世紀のビザンツ帝国における皇帝とエリート—コンスタンス2世期を中心に—
19	文学部	教授	高橋 秀寿	200	グローバル・ナショナル・リージョナルの三空間と現代社会の歴史的位相
20	文学部	教授	田中 省作	200	学術論文の権威性に関する基礎研究
21	文学部	教授	中西 健治	200	『寝覚物語』の多角的研究と新見創出
22	文学部	教授	東山 篤規	200	大気遠近による距離、奥行き、大きさの知覚的变化とそのプロセスの解明
23	文学部	教授	美川 圭	200	日本中世史における会議の特質—他の時代およびヨーロッパとの比較を通じて—
24	文学部	教授	森永 貴子	200	近代茶貿易が形成する流通と産業:陸と海のルートから
25	文学部	教授	山崎 有恒	200	近代日本植民地全般における自然災害と防災
26	文学部	助教	磯部 直希	200	「伝統的工芸品」産地における「AIR」事業の現状に関する総合的研究
27	文学部	助教	田村 昌彦	200	モンティ・ホール・ジレンマにおけるプロスペクト理論の適用と発展
28	文学部	非常勤講師	青柳 雅文	200	現象学との関係を手がかりとしたアドルノの思想形成の解明
29	文学部	非常勤講師	丸山 彩	200	アジア・太平洋戦争期のジャワにおける音楽普及状況に関する基礎的研究

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系(2016年度)第1回(募集期間:4月28日~5月13日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
30	文学部	助手	寺床 幸雄	200	関係論的視点からみた農山村の存立と再編成に関する地理学的研究
31	文学部	助手	村上 嵩至	200	感情状態と個人特性の関連が視覚情報の大域・局所処理に及ぼす影響の解明
32	映像学部	教授	朴 真理子	200	応用言語学的観点に基づきいじめの認識生成メカニズムに関する国際比較研究
33	映像学部	准教授	古川 耕平	200	デジタルアーカイブを用いた災害問題における物的・心的環境の再構築に関する研究
34	経済学部	教授	上田 真理砂	200	英語教育における診断的リスニング指導法と教材の開発
35	経済学部	教授	金丸 裕一	200	東アジア「和解」のための人文的接近
36	経済学部	教授	Kangkook LEE	200	A Study of Income and Wealth Inequality in East Asia: For Equality and Growth
37	経済学部	教授	佐藤 卓利	200	経営主体の異なる医療・介護サービス提供機関間の調整システムの開発研究
38	経済学部	教授	田中 宏	200	地方・地域の社会技術の創造と欧州マクロ地域戦略
39	経済学部	准教授	大野 敦	200	東アジアの倫理的消費の国際比較
40	経済学部	授業担当講師	松野 周治	200	日本中小企業の国際展開と東アジア地域内国際分業の深化:典型地域事例研究を通じて
41	経営学部	教授	今田 治	200	自動車企業のグローバル展開・開発生産体制と新興国における開発・調達の現地化
42	経営学部	教授	木本 伸	200	海への逃走-ドイツ再統一後の映画に関する一考察-
43	経営学部	教授	Schlunze Rolf.Dieter	200	The role of global managers in world cities:Investigating boundary spanners'CQ, preferences and networking behavior
44	経営学部	教授	横田 明紀	200	総合基幹業務システムにおけるライフサイクル・マネジメントに関する実証研究
45	経営学部	教授	善本 哲夫	200	創造性喚起に向けたデジタルものづくりの研究
46	政策科学部	教授	岸 道雄	200	国際比較分析に基づく日本の生活賃金の総合的研究
47	政策科学部	准教授	豊田 祐輔	200	市民全体を対象とした行政防災施策による地区防災計画策定モデルの構築
48	政策科学部	准教授	HICKS, KIMBERLEY ANNE	200	Policy,Practice and Intergration: Retention of Highly Skilled Migration
49	政策科学部	助教	桜井 良	200	里海を題材とした中学生への海洋プログラムの教育効果測定
50	総合心理学部	教授	永井 聖剛	200	多次元質感情報の高次表現:知覚と運動反応における質感情報共有
51	総合心理学部	教授	服部 雅史	200	因果帰納における認知的非対称性
52	総合心理学部	教授	星野 祐司	200	作動記憶に影響をおよぼす要因として心配に関する認知心理学的研究
53	総合心理学部	教授	矢藤 優子	200	子どもの発達とメディアに関する実証的研究:科学的根拠に基づく子育て支援を目指して
54	総合心理学部	准教授	三田村 仰	200	エクスポージャー療法の実践家養成プログラムの開発
55	言語教育情報研究科	教授	滝沢 直宏	200	コーパスからの情報抽出方法およびコーパス利用における諸問題の打開策に関する研究
56	先端総合学術研究科	教授	美馬 達哉	200	脳刺激ニューロフィードバックによる脳内伝達物質制御
57	衣笠総合研究機構	准教授	渡辺 克典	200	ディスアビリティ・ヘイト・クライムの国際比較研究
58	衣笠総合研究機構	専門研究員	河原 梓水	200	国際比較に基づく古代日本における華夷思想の受容と展開の研究

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系(2016年度)第1回(募集期間:4月28日~5月13日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
59	衣笠総合研究機構	専門研究員	孫 美幸	200	日・韓の多文化共生教育を軸としたホリスティックな平和教育
60	OIC総合研究機構	専門研究員	吉岡 泰亮	200	里海の活性化に関する実証的研究 - 漁業活動を中心として -
61	教育開発推進機構	教授	林 徳治	200	大学および実習校による均等性を担保した教育実習評価の実証研究
62	共通教育推進機構	准教授	長田 尚子	200	産学連携PBLにおける学生の自律的活動の支援方法の検討
63	共通教育推進機構	講師	宮下 聖史	200	「人口減少社会」下の社会理論に関する研究-「地方消滅」論と「創造的復興」論の対抗軸の形成に向けて-
64	国際教育推進機構	准教授	駒見 一善	200	中台関係の変化と人的交流拡大が与える影響に関する研究
65	国際教育推進機構	嘱託講師	Kanduboda A. B. Prabath	200	バイリンガル話者の言語使用にみられる混合かき混ぜ操作
66	言語教育センター	嘱託講師	ABEL ALVAREZ PEREIRA	200	A Contrastive kinetics and non-verbal communication research on Japanese-Spanish speakers
67	言語教育センター	嘱託講師	KIM WACHUTKA JACKIE	200	Comparative Analysis of Language, Culture, and Community Integration Support in Japan and Germany for Refugee and Asylum Seekers
68	言語教育センター	嘱託講師	田中 美津子	200	プレゼンテーションにおける学習者間の相互評価の妥当性の検討
69	言語教育センター	嘱託講師	López Jara SANTIAGO	200	Procedural semantics and politeness: a contrastive study of discursive particles in Spanish and Japanese
70	テクノロジー・マネジメント研究科	准教授	児玉 耕太	200	生体内オキシトシン濃度の前処理不要迅速測定システム開発
71	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	楠奥 繁則	200	経営組織論からみた農業における6次産業化プロデューサーの育成研究
72	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	神松 幸弘	200	機能形質の多様性の群集間比較-森林生態系におけるサンショウウオ類の生態的地位-
73	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	篠塚 良嗣	200	日本中央部の日本海沿岸の湖沼堆積物を用いた災害史の構築と人間活動との関係
74	法学部	教授	出口 雅久	400	欧州司法裁判所および欧州人権裁判所の判例の及ぼす加盟国への影響
75	総合心理学部	教授	サウトツツヤ	400	QOLを脅かす不定状況とそこからの回復・移行に関する質的研究
76	衣笠総合研究機構	教授	山田 洋子	400	レジリエンスを育成する心理・医療・教育プログラム-ビジュアル・ナラティブと巡礼
77	法学部	教授	植松 健一	500	グローバル化と「世代間公正」と向き合う選挙制度の憲法学的考察
78	法学部	准教授	谷江 陽介	500	締約強制法理の理論枠組み-自由と規制を規律する法理の構築
79	産業社会学部	教授	秋葉 武	500	日韓における政治の機会主義化と事業型NPOのマネジメント
80	産業社会学部	教授	黒田 学	500	インクルーシブ社会構築への知的障害者の中等教育と雇用保障に関する日欧比較調査研究
81	産業社会学部	教授	三笥 利幸	500	マックス・ヴェーバーの宗教社会学関連テキストの改定問題から思想展開を探る試み
82	国際関係学部	准教授	HAYES BLAKE ELAINE	500	A Multi-Country Institutional Analysis of Praxis Promoting Gender Equality
83	国際関係学部	准教授	RAJKAI Zsombor	500	家族と個人化の社会学的な考察
84	文学部	教授	赤間 亮	500	日本古典籍のSNS型電子テキストアーカイブ・プラットフォームの構築研究
85	文学部	教授	萩原 正樹	500	『詞律大成』の総合的研究
86	文学部	准教授	西林 孝浩	500	中国仏教美術のデジタルアーカイブ研究
87	文学部	助教	奈良 勝司	500	近代移行期におけるナショナル・アイデンティティ形成の構造的な研究

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系(2016年度)第1回(募集期間:4月28日~5月13日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
88	文学部	非常勤講師	城下 賢一	500	戦後日本の家族政策
89	文学部	非常勤講師	鷲尾 祐子	500	住民家族名簿を用いた三国呉の長沙における家族の実態の検討
90	文学部	契約職員	織田 涼	500	感情がアイデアの生成過程に与える影響とその認知基盤の解明
91	映像学部	准教授	望月 茂徳	500	共生型高付加価値社会におけるインクルーシブなインタラクティブメディアの開発
92	経済学部	教授	細貝 健司	500	人間の体は誰のものか:法学、経済学、人類学、哲学の間
93	経営学部	教授	佐藤 典司	500	自動運転車の導入による地域デザインの変容と課題に関する研究
94	経営学部	教授	鄭 雅英	500	中国朝鮮族と在日済州人に見る移民と「ネーション(国民)」意識形成に関する研究
95	経営学部	准教授	小島 愛	500	介護・福祉経営における第三者評価の普及に関する実証研究
96	先端総合学術研究科	教授	立岩 真也	500	病者障害者運動史研究—生の現代から未来へ
97	法務研究科	教授	松本 克美	500	修復的正義の観点からの<損害可視化>を実現するための損害論の法心理学的再構築
98	衣笠総合研究機構	教授	鈴木 桂子	500	グローバルな連環の中の「きもの」文化—アロハシャツ、スカジャンを中心に
99	衣笠総合研究機構	教授	浜田 寿美男	500	誤判防止と冤罪救済のための学融的支援モデルの構築とその理論的・社会的展開
100	衣笠総合研究機構	准教授	金 度源	500	コミュニティ防災を支援する住民防災ワークショップに関する研究
101	OIC総合研究機構	教授	柴田 晃	500	ゴルフ場剪定枝・刈芝等の処理実態調査と炭化・農地埋設による有効利用の基礎的研究
102	OIC総合研究機構	専門研究員	澤野 美智子	500	韓国における「オモニ」イデオロギーの変遷と実態—家族と食をめぐる事例から
103	教育開発推進機構	准教授	藤本 学	500	就労困難者のウェルビーイングの向上に向けた心理学的支援プログラムの確立
104	言語教育センター	嘱託講師	STRAFELLA ELGA LAURA	500	コーパス言語学の日本語教育への応用—学習者のコロケーション習得を目指して
105	言語教育センター	嘱託講師	二宗 美紀	500	現代バスク語に関する予備調査:基本語彙の選定と語法・文法について
106	テクノロジー・マネジメント研究科	准教授	児玉 耕太	500	計算と実験の融合による多量体脱重合阻害剤の新規倫理的分子設計法の開発
107	政策科学部	教授	真淵 勝	1,000	政治指導者のためのリスク管理プラットフォーム

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2016年度) 第2回(募集期間:6月10日~6月30日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
1	法学部	非常勤講師	中川 洋一	200	21世紀のグローバルガバナンスにむけた欧州の国際制度や一国の役割と方向性
2	産業社会学部	教授	山本 耕平	200	若者ソーシャルワーク・方法論の研究 ―当事者と実践者の協同関係構築の視座から―
3	産業社会学部	教授	リム ボン	200	欧米人による合気道理合の国際的普及活動の検証と異文化理解地域連携教育への応用実験
4	産業社会学部	准教授	永島 昂	200	高度成長期・安定成長期における日本鋳造技術の形成と高度化に関する研究
5	産業社会学部	非常勤講師	高木 正朗	200	日本最初期の社会調査史料収集プロジェクト―初期人別改帳・宗門改帳の解明にむけて―
6	国際関係学部	教授	高橋 伸彰	200	東日本大震災後における日本経済の持続可能な新しい発展モデルに関する研究
7	国際関係学部	准教授	岩田 拓夫	200	アフリカの政治的変容期における「笑い」に関する研究
8	国際関係学部	准教授	宮口 貴彰	200	実存論的評価手法の気候変動プロジェクトへの応用
9	文学部	非常勤講師	破田野 智美	200	写真表現を実証的・定量的に分析する手法の開発
10	経営学部	助教	于 鑫	200	革新的ユーザーが高業績の会社を起こす:組織的な要素の解明
11	言語教育情報研究科	教授	COULSON, David Gregory	200	Improving English Academic Skills through Directed Self-Access in a Global 3 0 Academy
12	先端総合学術研究科	教授	Paul Dumouchel	200	Sensory anthropology, affective coordination and artificial empathy
13	公務研究科	助教	宇ノ木 建太	200	地方都市政治における政策理念の受容と変遷-コンパクトシティ政策を対象として
14	公務研究科	助教	竹本 信介	200	戦後日本外交の政官関係-外務省員のキャリアパスへの考察を手がかりに-
15	衣笠総合研究機構	専門研究員	安本 晋也	200	循環的因果律の観点から見たフードデザート問題の発生メカニズム
16	言語教育センター	嘱託講師	海賓 康臣	200	Ziph (1949) の最小労力の原則に基づく言語分析
17	言語教育センター	嘱託講師	辻 香代	200	グローバル言語カプログラムの開発
18	言語教育センター	嘱託講師	西条 正樹	200	日英フットボールコーチングにおける選手評価言語差異の分析
19	経済学部	教授	松原 豊彦	400	FOOD's WHO 食と農の作り手・担い手アーカイブ化に関する基礎研究
20	政策科学部	教授	真淵 勝	400	国民のためのリスク管理プラットホーム
21	国際関係学部	准教授	廣野 美和	500	Simulating Peacebuilding
22	国際関係学部	非常勤講師	大倉 三和	500	グローバル市場と気候変動影響下の南アジアにおける農村社会運動の役割・ダイナミクス
23	国際関係学部	非常勤講師	野々口 ちとせ	500	専門科目を内容とした日本語教育に関する基礎的研究
24	応用人間科学研究科	教授	吉 沅洪	500	障がい者きょうだいの援助ニーズと期待するサービスの変化-日中台の比較研究-
25	言語教育情報研究科	教授	平田 裕	500	筆記テスト時と会話時の脳活動に着目した、筆記テストの新たな応用研究
26	先端総合学術研究科	非常勤講師	中倉 智徳	500	発明・イノベーション概念と資本主義社会に関する思想史
27	文学部	教授	矢野 桂司	1,000	歴史GISによるデジタル・ヒューマニティーズの国際展開

【採用実績・成果概要等】

研究推進プログラム(科研費獲得推進型)人文社会科学系 (2016年度) 第3回(募集期間:9月7日～9月23日)

※職名は申請時のもの

No	研究代表者			採択金額 (単位:千円)	研究課題
	所属	職名※	氏名		
1	政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦	198	「歴史文化コミュニティのジオデザインによる防災政策」
2	文学部	非常勤講師	磯部 淳史	200	清朝順治～康熙年間における皇帝権力と側近集団に関する研究
3	経営学部	准教授	小島 愛	200	文化的背景の異なる高齢者に対するケアが介護従事者に与える影響に関する研究:介護事業経営に生きる知の統合を目指して
4	総合心理学部	助教	都賀 美有紀	200	短期的な順序の記憶における長期記憶の影響の解明
5	公務研究科	教授	久保田 崇	200	震災復興における中央省庁の官僚による被災自治体出向に関する研究
6	衣笠総合研究機構	専門研究員	吉永 隆記	200	日本中世荘園研究における地理学的分析の応用と環境復元
7	言語教育センター	嘱託講師	横山 友里	200	第2外国語としてのスペイン語学習における動機減退要因のプロセス
8	総合心理学部	教授	サトウタツヤ	400	ナラティブー概念と実践の再編成
9	共通教育推進機構	准教授	原木 万紀子	493	裁判員の心理的負担軽減に向けた遺体写真の適切なイラスト化、描写度の検討
10	法学部	教授	徳久 恭子	500	福祉国家確立期における女性労働をめぐるポリティクスー育児休業制度を事例として
11	文学部	教授	高橋 学	500	年縞環境史学の創成
12	文学部	准教授	岡本 広毅	500	J. R. R. トールキンの中世英文学に関する研究論文と創作の関連性について
13	経営学部	准教授	佐野 宏樹	500	小売企業の在庫回転率と資本制約の関係に関する実証研究
14	衣笠総合研究機構	教授	安田 喜憲	500	年縞環境史学の創成
15	言語教育センター	嘱託講師	小松原 哲太	500	効果的なレトリック表現の使用環境の解明ー文字テキストと子どもの発話の比較
16	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	佐々木 葉月	500	テロリズムの過激化問題に対するローカル・ガヴァナンスの促進要因の研究